

学校名 秩父市立久那小学校
所在地 秩父市久那2183番地1
電話 0494-22-1530

1 本校の概要

本校は、秩父市の西部に位置する学級数8、児童数67名の小規模校である。全小中学校に配置されている学校図書館司書教諭補助員と図書主任が連携をとりながら、学校図書館の整備や児童の読書習慣定着に努めている。本校では、児童が興味・関心をもって本にふれられるように家庭や地域社会と一体となった読書活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣化に係る取組
- ・ 家庭や地域社会との連携
- ・ 読書をとおしたコミュニケーション能力の育成



(2) 実践の概要

児童の実態に即した手立てを講じ家庭と連携しながら読書習慣の定着を図り読書指導を充実させる。

ア 年間読書目標の設定（量の向上）

発達段階に応じて、一年間に読む本の数の目標を定め、100%達成に向けて意欲喚起を図った。



イ コミュニケーションツールとしての読書活動（質の向上）

図書委員が作成した「おすすめ本カード」を全学級に配置し、おすすめポイントを発表し合うなど、相手を意識した伝え合いを行った。

ウ 図書委員会の取組

図書委員6人によるおすすめ本の紹介や、読み聞かせ、紙芝居など、児童の目線で考えた取組を実施した。手作り葉のプレゼントにより意欲喚起を図った。通常2冊の貸出を金曜日のみ「+1冊」として利用率向上に努めた。「おすすめ本のリスト」の作成と活用により本の楽しさを広めた。

エ 読書月間の取組

春は縦割班を活用し、班長による読み聞かせを行い、班毎に読んだ冊数をアジサイの花びらとして貼り、量の向上に努めた。秋は家族読書や読書感想文の発表、学級単位の読書祭りを実施し、質の向上に努めた。家族読書の取組の中で保護者の感想を紹介し、読書の輪を家庭や地域に広めている。

オ 読み聞かせボランティアや市立図書館との連携

月に一度、金曜日の業前に卒業生の保護者を中心としたボランティアによる読み聞かせを実施している。季節や児童の実態に即して選書している。



市立図書館司書によるお話の会やブックトークは豊かな心を育む教育の一環として実施している。

また、月に一度の移動図書館の来校でより多くの本と出会える機会を設けている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 学校図書館が児童にとって居心地のよい学びの場となった。

イ 読書への関心が高まり、読書量が増えた。

ウ 本を手にすることが増え、児童間の話題に「読書」が登場することが多くなった。

(2) 課題

ア 本の質の充実に努めていく。

イ 児童の情報収集の一助となる「学習支援センター」としての機能も十分に担えるよう各教科のカリキュラムに沿った配架に改善していく。

(3) おわりに

取組の成果から、本に興味をもち本の楽しさに気付く児童が増えている。また、保護者からも子供の変容が聞かれるようになった。

「飛べ心！本はその翼だ」プレゼントする葉の中にも刻まれている言葉。本学校図書館のメインテーマである。児童が生き生きと生涯にわたって味わい深い読書活動が行えるよう、今後も児童の読書活動を支え、魅力ある学校図書館経営をしていきたい。